

「平塚市子育て支援に関するアンケート調査」への ご協力のお願い

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
平塚市では、安心して出産、子育てできるまちを目指して、さまざまな子育て支援の取り組みを進めております。

この度、子ども・子育て支援法に基づく「第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画」（2020年度からの5か年計画）の策定にあたり、市民の皆様の子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握するため、アンケート調査を実施させていただきます。

ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成31年（2019年）1月

平塚市長 落合 克宏

1 調査の対象者

未就学児童

（平成24年（2012年）4月2日以降に出生したお子さんから2,500人無作為抽出）
平成30年（2018年）12月17日現在の住民基本台帳から抽出しています。

2 ご回答にあたってのお願い

- ・宛名のお子さんの保護者が、ご記入ください。
- ・調査票には、お名前をお書きいただく必要はありません。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- ・その他をお選びの場合は、かっこ内に具体的内容をご記入ください。
- ・調査票の設定は多くありますが、最終ページまでご協力をお願いします。
- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、切手を貼らずに
平成31年（2019年）2月1日（金）までに郵便ポストにご投函ください。

ご回答で個人が特定されたり、回答内容を他の目的に使用したりすることはありません。

3 読みがなをふった調査票

- ・平塚市のホームページに掲載していますので、ご活用ください。

調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】平塚市 保育課子育て支援担当（平塚市役所本館1階101窓口）

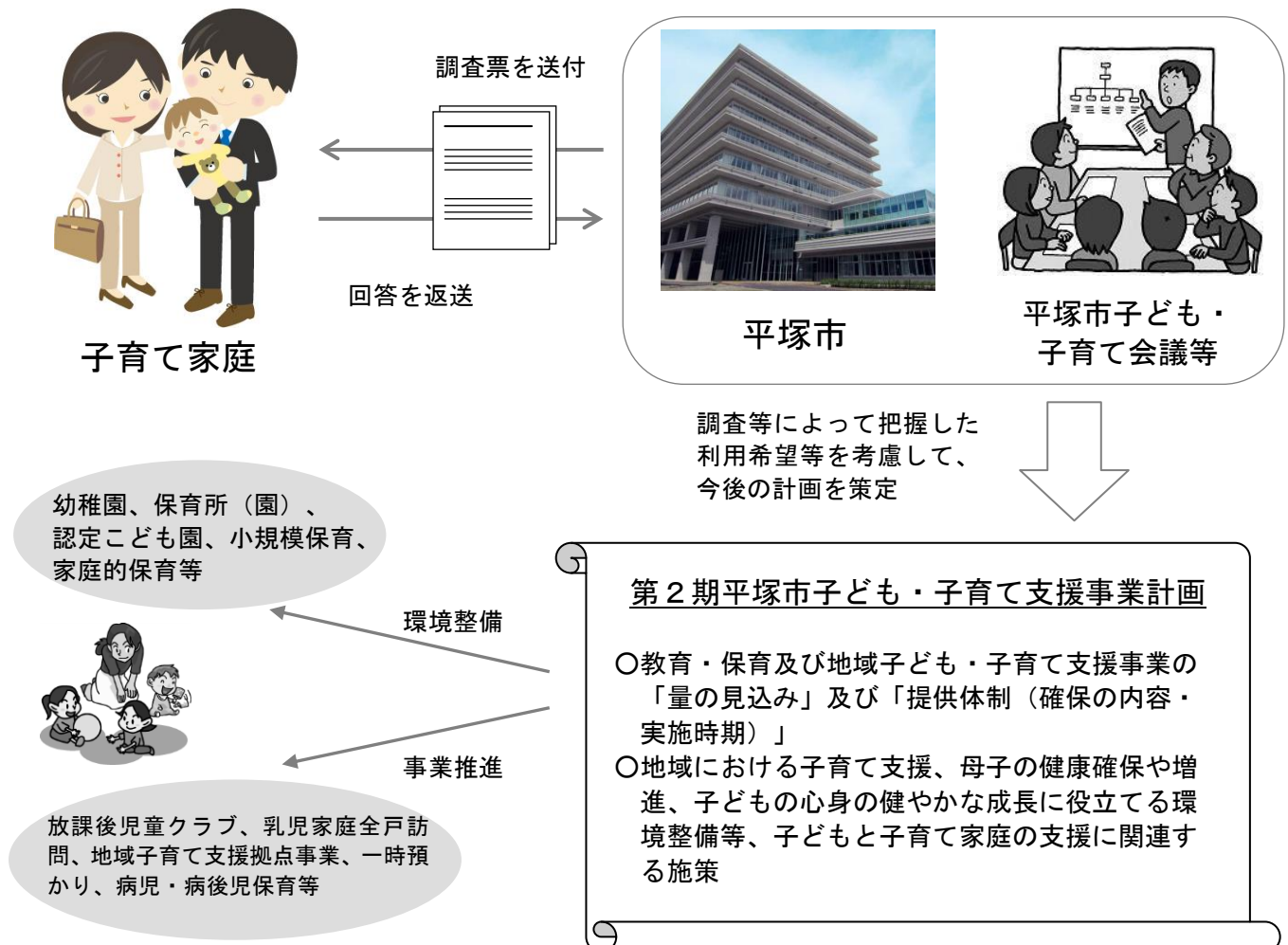
※月曜日～金曜日（祝日を除く）8時30分～17時

電話：0463-21-9842（直通） FAX：0463-21-9738

子ども・子育て支援新制度（子ども・子育て支援法に基づいています。）

- 急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長は、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人一人がかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが大切です。社会全体の責任として、このような環境を整備することを目指しています。
- 保護者には、子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

子ども・子育て支援事業計画の策定、実施までの流れ



用語解説

この調査票で使用する用語です。回答時の参考にしてください。

用語	解説
幼稚園	多くは満3歳から就学前まで、通常1日4時間の幼児教育を行う施設
幼稚園の預かり保育	幼稚園で、通常の教育時間前の朝や終業後の夕方まで、夏休み等の長期休業中に子どもを預かる。
認可保育所	国が定める基準に適合し、都道府県等の認可を受けた施設 保育を必要とする子どもを保育する。
認定こども園	幼稚園と保育機能施設が一体的となった施設 小学校就学前の子どもに幼児教育・保育を提供し、地域における子育て支援等の機能も備える。
幼保連携型	幼稚園と認可保育所の機能を一体的に備える。
幼稚園型	幼稚園が保育を必要とする子どもを受け入れ、保育機能を備える。
保育所型	認可保育所が保育を必要とする子ども以外の子どもを受け入れ、幼稚園機能を備える。
地方裁量型	認可外の地域の教育・保育施設が、幼稚園機能及び保育所機能を備える。
家庭的保育	5人以下の子どもを家庭的保育者の居宅等で保育する。
小規模保育事業施設	国が定める基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員6人～19人の施設
事業所内保育施設	企業や病院において、会社、工場、病院等に設置され、事業所の従業員の子どもを保育する施設
自治体の認証・認定保育施設	認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設
企業主導型保育施設	企業が設置し、従業員の子どもや地域の子どもを保育する施設
その他認可外の保育施設	上記以外の保育施設
居宅訪問型保育	ベビーシッターのように、家庭的保育者が子どもの居宅で保育する。
ファミリー・サポート・センター事業	地域住民による会員相互（依頼会員・支援会員）で子どもを預かる事業で、保護者の病気や介護等の事情での一時保育や、幼稚園・保育所・小学校等への送迎、保育施設の時間外の保育等に利用できる。
一時預かり	保護者の仕事、冠婚葬祭、通院等の理由で、保育所等で子どもを一時的に預かる。
病児・病後児保育	子どもが病気のと看や子どもが病気から回復期にあるときに保育する。
地域子育て支援拠点事業	親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」や「子育て支援センター」等と呼ばれる。
放課後児童クラブ (学童保育)	保護者が就労等により昼間家庭にいない場合等に、指導員のもと、子どもの生活の場を提供する。

【 住所・地区対照表 】

地区名の番号は、問1の回答番号です。

	町丁名	地区
あ	明石町	4. 江陽
	天沼	4. 江陽
い	飯島	11. 金田
	出縄	14. 旭
	入野	11. 金田
	入部	11. 金田
え	榎木町	4. 江陽
お	老松町	4. 江陽
	追分	5. 大野西部
	大神	8. 神田
	大島	9. 城島
	大原	5. 大野西部
	岡崎	10. 岡崎
か	片岡	12. 金目
	上吉沢	13. 土沢
	上平塚	3. 春日野
き	北金目	12. 金目
	北金目一丁目～四丁目	12. 金目
	北豊田	7. 豊田
	城所	9. 城島
く	公所	14. 旭
	久領堤	2. 太洋
	黒部丘	1. 浜岳
こ	河内	14. 旭
	御殿一丁目～四丁目	5. 大野西部
	小鍋島	9. 城島
さ	幸町	2. 太洋
	桜ヶ丘	3. 春日野
	真田	12. 金目
	真田一丁目～四丁目	12. 金目
し	四之宮一丁目～七丁目	6. 大野東部
	下吉沢	13. 土沢
	下島	9. 城島
	新町	5. 大野西部
す	須賀	4. 江陽
	董平	1. 浜岳
	諏訪町	3. 春日野
せ	浅間町	4. 江陽
	千石河岸	2. 太洋
	千須谷	12. 金目
そ	袖ヶ浜	1. 浜岳
た	代官町	2. 太洋
	高根	14. 旭
	高浜台	2. 太洋
	高村	14. 旭
	宝町	4. 江陽
	立野町	4. 江陽
	田村一丁目～九丁目	8. 神田
	達上ヶ丘	3. 春日野
	土屋	13. 土沢
堤町	4. 江陽	
て	寺田縄	11. 金田

	町丁名	地区
と	唐ヶ原	1. 浜岳
	徳延	14. 旭
	豊田打間木	7. 豊田
	豊田小嶺	7. 豊田
	豊田平等寺	7. 豊田
	豊田本郷	7. 豊田
	豊田宮下	7. 豊田
	豊原町	3. 春日野
	な	中里
	中堂	4. 江陽
	長瀬	4. 江陽
	中原一丁目～三丁目	5. 大野西部
	中原下宿	5. 大野西部
	長持	11. 金田
	撫子原	1. 浜岳
に	虹ヶ浜	1. 浜岳
	錦町	4. 江陽
	西真土一丁目～四丁目	6. 大野東部
	西八幡一丁目～四丁目	6. 大野東部
ね	根坂間	14. 旭
は	花水台	1. 浜岳
	馬入	4. 江陽
	馬入本町	4. 江陽
ひ	東真土一丁目～四丁目	6. 大野東部
	東豊田	7. 豊田
	東中原一丁目～二丁目	5. 大野西部
	東八幡一丁目～五丁目	6. 大野東部
	日向岡一丁目～二丁目	14. 旭
	平塚一丁目～五丁目	3. 春日野
	広川	12. 金目
ふ	富士見町	3. 春日野
	ふじみ野一丁目～二丁目	10. 岡崎
	札場町	2. 太洋
へ	紅谷町	4. 江陽
ま	松風町	1. 浜岳
	纏	14. 旭
	万田	14. 旭
み	見附町	4. 江陽
	南金目	12. 金目
	南豊田	7. 豊田
	南原一丁目～四丁目	5. 大野西部
	宮の前	4. 江陽
	宮松町	4. 江陽
め	めぐみが丘一丁目～二丁目	13. 土沢
も	桃浜町	1. 浜岳
や	八重咲町	1. 浜岳
	八千代町	4. 江陽
	山下	14. 旭
ゆ	夕陽ヶ丘	2. 太洋
よ	横内	8. 神田
	吉際	8. 神田
	り	龍城ヶ丘

平塚市子育て支援に関するアンケート調査票

問1 お住まいの地区に当てはまる番号に○をつけてください。
お住まいの場所がどの地区となるかは、別紙の「住所・地区対照表」をご覧ください。

- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 浜岳 | 2. 太洋 | 3. 春日野 | 4. 江陽 |
| 5. 大野西部 | 6. 大野東部 | 7. 豊田 | 8. 神田 |
| 9. 城島 | 10. 岡崎 | 11. 金田 | 12. 金目 |
| 13. 土沢 | 14. 旭 | | |

問2 宛名のお子さんの生年月日に当てはまる番号に○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 平成24年(2012年)4月2日～平成25年(2013年)4月1日 |
| 2. 平成25年(2013年)4月2日～平成26年(2014年)4月1日 |
| 3. 平成26年(2014年)4月2日～平成27年(2015年)4月1日 |
| 4. 平成27年(2015年)4月2日～平成28年(2016年)4月1日 |
| 5. 平成28年(2016年)4月2日～平成29年(2017年)4月1日 |
| 6. 平成29年(2017年)4月2日～平成30年(2018年)4月1日 |
| 7. 平成30年(2018年)4月2日以降 |

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|-----------|
| 1. 母親 |
| 2. 父親 |
| 3. その他() |

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
当てはまる番号に○をつけてください。

- | |
|------------|
| 1. 配偶者がいる |
| 2. 配偶者はいない |

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|------------|
| 1. 父母ともに |
| 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父や祖母 |
| 5. その他() |

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に影響すると思われる環境の番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------|
| 1. 家庭 |
| 2. 地域 |
| 3. 幼稚園 |
| 4. 保育所 |
| 5. 認定こども園 |
| 6. その他() |

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	}	(1)をお答え ください。
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる		
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	}	(2)をお答え ください。
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる		
5. いずれもない		

(1) 問7で「1」、「2」に○をつけた方がお答えください。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族に安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的・精神的負担が心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約が心配である
4. 自分たち親の立場として、祖父母等の親族に負担をかけていると思う
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

(2) 問7で「3」、「4」に○をつけた方がお答えください。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的・精神的負担が心配である
3. 友人・知人の時間的制約が心配である
4. 自分たち親の立場として、友人・知人に負担をかけていると思う
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人、相談できる場所がありますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. いる/ある	気軽に相談できる人はどなたですか。また、場所はどこですか。 当てはまる記号すべてに○をつけてください。
ア. 祖父母等の親族 イ. 友人や知人 ウ. 近所の人 エ. 子育て支援施設(子育て支援センター、つどいの広場) オ. 保健センター・子育て世代包括支援センター(ひらつかネウボラールームはぐくみ) カ. 保育所・幼稚園 キ. かかりつけの医師 ク. 民生委員・児童委員、町内福祉村 ケ. 保健所、児童相談所 コ. 県や市町村の子育て関連担当窓口 サ. その他 ()	
2. いない/ない	

○お子さんの歯の健康についてうかがいます。

問9 むし歯予防として効果的なフッ素の利用方法を知っていますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 歯科医院でフッ素を塗ってもらう
2. フッ素入りの歯みがき剤を使う
3. 歯科医院で処方されたフッ素液でうがいをする
4. 知らない

問10 問9で「1」～「3」に1つ以上○をつけた方がお答えください。
問9で選択した方法を、どれか1つでも実際に利用していますか。
当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

○宛名のお子さんの定期的な教育・保育事業の利用についてうかがいます。

※「定期的な利用」とは月単位で定期的に利用していることです。

問11 宛名のお子さんは、現在、平日に定期的に教育・保育事業を利用していますか。

当てはまる番号に○をつけてください。「教育・保育事業」とは次ページ問11（1）で示している事業です。

1. 利用している ⇒ (1)、(2)へお進みください。
2. 利用していない → 次の問いにお答えください。
今後、事業の利用希望はありますか。当てはまる記号に○をつけてください。
事業の利用が決まっている場合は、アを選択してください。
なお、事業の利用には、利用者負担が発生する場合があります。
ア. () *歳くらいになったら利用したい ⇒ 問13へお進みください。
*年齢をご記入ください。
イ. 利用希望はない ⇒ 問15へお進みください。

問11で「1. 利用している」に○をつけた方が、(1)及び(2)をお答えください。

(1) 宛名のお子さんは、平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて、定期的に利用している事業に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 幼稚園（幼稚園で、通常の教育時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（幼稚園で、通常の教育時間の開始前や終業後の夕方まで預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けた定員20人以上の施設）
4. 認定こども園（幼稚園と保育機能施設を併せ持つ施設）
5. 家庭的保育（5人以下の子どもを保育者の居宅等で保育）
6. 小規模保育事業施設（国が定める基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員6人～19人の施設）
7. 事業所内保育施設（企業や病院等に設置され、事業者の従業員の子どものみを保育する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. 企業主導型保育施設（企業が設置し、従業員の子どものみや地域の子どものみを保育する施設）
10. その他の認可外の保育施設（上記以外の保育施設）
11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのように、保育者が子どもの居宅で保育）
12. ファミリー・サポート・センター（地域住民（支援会員）による子どもの預かり）
13. その他（ ） |
|---|

(2) (1)で選んだ事業を現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれご記入ください。複数の事業を選んだ方は、その合計としてください。利用・希望時間帯は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。

現在	希望
1週当たり（ ）日	1週当たり（ ）日
1日当たり（ ）時間	1日当たり（ ）時間
利用時間帯（ ）時～（ ）時	希望時間帯（ ）時～（ ）時

問12 問11(1)で「1. 幼稚園」に○をつけた方がお答えください。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期休業期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。利用希望がある場合は、希望する時間帯をご記入ください。利用には、利用者負担が発生する場合があります。

- | | |
|--|---|
| 1. 利用希望はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい | 希望時間帯
（ ）時～（ ）時
時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。 |
|--|---|

(1) 問12で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方がお答えください。利用したい理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 週に数回仕事があるため
2. 買い物等の用事をまとめて行うため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 休息のため
5. その他（ ） |
|--|

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんが、**平日に定期的に教育・保育事業を利用したい**と考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、利用者負担が発生する場合があります。保育所等の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 幼稚園（幼稚園で、通常の教育時間の利用）2. 幼稚園の預かり保育（幼稚園で、通常の教育時間の開始前や終業後の夕方まで預かる事業のうち定期的な利用のみ）3. 認可保育所（国が定める基準に適合した施設で、都道府県等の認可を受けた定員20人以上の施設）4. 認定こども園（幼稚園と保育機能施設を併せ持つ施設）5. 家庭的保育（5人以下の子どもを保育者の居宅等で保育）6. 小規模保育事業施設（国が定める基準に適合した施設で、市町村の認可を受けた定員6人～19人の施設）7. 事業所内保育施設（企業や病院等に設置され、事業者の従業員の子どもを保育する施設）8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）9. 企業主導型保育施設（企業が設置し、従業員の子どもや地域の子どもを保育する施設）10. その他の認可外の保育施設（上記以外の保育施設）11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのように、保育者が子どもの居宅で保育）12. ファミリー・サポート・センター（地域住民（支援会員）による子どもの預かり）13. その他（） |
|---|

問 14 問 13 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所」～「13. その他」のいずれかに○をつけた方がお答えください。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。
当てはまる番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. はい2. いいえ |
|--|

問 15 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、**土曜日**と**日曜日・祝日**に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。利用したい場合は、希望する時間帯をご記入ください。事業の利用には、利用者負担が発生する場合があります。**「教育・保育事業」とは、問 13 で示した事業で、親族や友人・知人による預かりは含みません。**

土曜日	日曜日・祝日
1. 利用希望はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に 1～2 回は利用したい	1. 利用希望はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に 1～2 回は利用したい
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 希望時間帯 () 時～() 時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず 24 時間制でご記入ください。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 希望時間帯 () 時～() 時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず 24 時間制でご記入ください。 </div>

(1) 問 15 で「3. 月に 1～2 回は利用したい」に ○ をつけた方がお答えください。利用したい理由に当てはまる番号 すべてに ○ をつけてください。

1. 月に数回仕事があるため
2. 平日にできない用事をまとめて行うため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. 休息のため
5. その他 ()

問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、教育・保育事業を利用したい場所について、当てはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 自宅の近く
2. 勤務場所の近く
3. 通勤途上で自宅からの最寄駅近く
4. その他 ()

○宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育事業を利用する方のみ)

問 11 (3 ページ) で「定期的な教育・保育事業」を「1. 利用している」に○をつけた方がお答えください。問 11 で「2. 利用していない」に○を付けた方は問 18 へお進みください。

問 17 昨年 1 年間に、宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありませんでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. あった ⇒ (1) へお進みください。
2. なかった ⇒ 問 18 へお進みください。

(1) その時の対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの年間日数をカッコ内にご記入ください。半日程度の場合も 1 日とカウントしてください。

対応	年間日数	次の設問へ
ア. 母親が仕事を休んだ	() 日	(2) をお答えください。
イ. 父親が仕事を休んだ	() 日	
ウ. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	() 日	(3) をお答えください。
エ. 同居を含む祖父母等の親族・知人に子どもをみてもらった	() 日	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	() 日	
カ. ベビーシッターを利用した	() 日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日	
ク. 子どもだけで留守番をさせた	() 日	
ケ. その他 ()	() 日	

(2) (1) でア、イのいずれか、または両方に○をつけた方がお答えください。

病児・病後児のための保育施設等（子どもが病気の時や子どもが病気から回復期にあるときの保育施設）を利用したいと思われましたか。当てはまる番号に○をつけてください。病児・病後児のための保育施設等の利用には、利用者負担と利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を () *日くらい利用したいと思った
(※日数をご記入ください。)

利用したいと思った方は、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

当てはまる記号すべてに○をつけてください。

- ア. 幼稚園や保育所等、他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業
イ. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
ウ. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
(ファミリー・サポート・センター等)
エ. その他 ()

2. 利用したいと思わなかった

(3) (1) でエ～ケのいずれかに○をつけた方がお答えください。

母親や父親が休む以外の対応をした理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない 3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他 ()

○宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 18 昨年 1 年間に、宛名のお子さんが日中の定期的な教育・保育事業の利用や病気による利用以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の理由で「不特定」に利用した事業はありましたか。あった場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの年間利用日数をかっこ内にご記入ください。

利用した事業	年間利用日数	
1. 一時預かり（私用等理由を問わずに、保育所等で子どもを一時的に保育する事業で、不定期的に利用する場合のみ）	() 日	
2. 幼稚園の預かり保育（通常の教育時間以外に子どもを預かる事業で不定期的に利用する場合のみ）	() 日	
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民（支援会員）による子どもの預かり）	() 日	
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で、夜間・休日子どもを保護する事業）	() 日	
5. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）	() 日	
6. その他 ()	() 日	
7. 利用した事業はない 利用していない理由は何ですか。当てはまる記号すべてに○をつけてください。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td> ア. 特に利用する必要がない イ. 事業の利用方法（手続き、利用料等）がわからない ウ. 利用料の負担がある、高い エ. 事業の対象者になるのか（自分が利用できるのか）どうかわからない オ. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない カ. 利用したい事業が地域にない キ. その他 () </td> </tr> </table>		ア. 特に利用する必要がない イ. 事業の利用方法（手続き、利用料等）がわからない ウ. 利用料の負担がある、高い エ. 事業の対象者になるのか（自分が利用できるのか）どうかわからない オ. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない カ. 利用したい事業が地域にない キ. その他 ()
ア. 特に利用する必要がない イ. 事業の利用方法（手続き、利用料等）がわからない ウ. 利用料の負担がある、高い エ. 事業の対象者になるのか（自分が利用できるのか）どうかわからない オ. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数等）がよくない カ. 利用したい事業が地域にない キ. その他 ()		

問 19 宛名のお子さんが私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、年間何日くらい問 18 に示した事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。また、「1. 利用する必要がある」に○をつけた方は、利用目的の内訳とその年間利用希望日数をご記入ください。なお、事業の利用には、利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用する必要がある		
利用目的	年間利用希望日数	
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、休息）	（ ）日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）日	
ウ. 不定期の就労	（ ）日	
エ. その他（ ）	（ ）日	
<p>利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。 当てはまる記号すべてに○をつけてください。</p> <table border="1"> <tr> <td> a. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） b. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業施設等） c. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） d. その他（ ） </td> </tr> </table>		a. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） b. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業施設等） c. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） d. その他（ ）
a. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等） b. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：小規模保育事業施設等） c. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） d. その他（ ）		
2. 利用する必要はない		

問 20 昨年 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）の理由で、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。当てはまる番号に○をつけてください。また、「1. あった」に○をつけた方は、その時の対応として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの年間宿泊数をかっこ内にご記入ください。

	対応	年間宿泊数	
1. あった	ア. 親族・知人にみてもらった（同居者を含む） みてもらった時の困難度はどの程度でしたか。 当てはまる記号 1 つに○をつけてください。 <table border="1"> <tr> <td> a. 非常に困難 b. どちらかというと困難 c. 特に困難ではない </td> </tr> </table>	a. 非常に困難 b. どちらかというと困難 c. 特に困難ではない	（ ）泊
	a. 非常に困難 b. どちらかというと困難 c. 特に困難ではない		
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で、一定期間子どもを保護する事業）	（ ）泊	
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊	
	エ. 預け先が見つからず、子どもを同行させた	（ ）泊	
	オ. 預け先が見つからず、子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊	
カ. その他（ ）	（ ）泊		
2. なかった			

○宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 21 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、本市では「子育て支援センター」、「つどいの広場」の名称を使用）を利用していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数をかっこ内にご記入ください。

1. 子育て支援センター、つどいの広場 (もこもこ、きりんのおうち、どれみ、ぼけっと、ここにくらす) 1週当たり()回 または 1か月当たり()回程度
2. 市で実施している類似の事業(具体名:) 1週当たり()回 または 1か月当たり()回程度
3. 利用していない

問 22 問 21 のような地域子育て支援拠点事業を今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(利用時間は問いません)をかっこ内にご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい 1週当たり()回 または 1か月当たり()回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい 1週当たり 更に()回 または 1か月当たり 更に()回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたりしたいとは思わない

問 23 次の事業等で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものを、「はい」、「いいえ」でお答えください。
「はい」の場合は1に、「いいえ」の場合は2に○をつけてください。

事業名・施設名等	A		Bこれまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
1. 保健センターの育児相談・育児 教室	1	2	1	2	1	2
2. 子育て世代包括支援センター (ひらつかネウボラームはぐくみ) [保健センター内]	1	2	1	2	1	2
3. 地域の子育て広場・子育てサー クル・子育てサロン等	1	2	1	2	1	2
4. 子どもの家 おやこ広場	1	2	1	2	1	2
5. 子育てガイド「くすくす」 (子育て支援情報冊子)	1	2	1	2	1	2
6. 市役所のこども総合相談窓口	1	2	1	2	1	2
7. こども発達支援室 くれよん	1	2	1	2	1	2
8. 子ども教育相談センター	1	2	1	2	1	2
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民(支援会員)による子どもの預かり)	1	2	1	2	1	2

問 24 問 23 の「9. ファミリー・サポート・センター」の項目で、「C今後利用したい」の「1. はい」に○をつけた方がお答えください。
 どのような支援を希望しますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等の送迎のみ	
2. 幼稚園・保育所等の送迎と預かり	
3. 小学校・放課後児童クラブ（学童保育）の送迎のみ （ 低学年 ・ 高学年 ）	3、4に○をつけた場合、どの学年まで利用したいですか。該当する学年に○をつけてください。 低学年は1～3年生、高学年は4～6年生です。
4. 小学校・放課後児童クラブ（学童保育）の送迎と預かり（ 低学年 ・ 高学年 ）	
5. 子どもの習い事の援助（送迎や預かり）	
6. 保護者等の病気や急な用事の際の預かり	
7. おおむね産後1か月以内の家事援助	
8. その他（	）

**○宛名のお子さんの小学校就学後の放課後等の過ごし方について
 うかがいます。先のことになります。現在お持ちのイメージでお答えください。**

問 25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）及び高学年（4～6年生）において、平日の小学校終了後（放課後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ1週当たりの利用希望日数をご記入ください。「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」をお選びの方は、利用希望の時間帯もご記入ください。時間は「午後6時」を「18時」のように必ず24時間制でご記入ください。

場所	低学年 （1～3年生）	高学年 （4～6年生）
1. 自宅	週（ ）日	週（ ）日
2. 祖父母等の親族宅や友人・知人宅	週（ ）日	週（ ）日
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週（ ）日	週（ ）日
4. 子どもの家（※1）	週（ ）日	週（ ）日
5. 放課後子ども教室（※2）	週（ ）日	週（ ）日
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 （保護者が就労等により昼間家庭にいない場合等に、指導員のもと、子どもの生活の場を提供する。）	週（ ）日 下校時から （ ）時まで	週（ ）日 下校時から （ ）時まで
7. ファミリー・サポート・センター事業における地域住民（支援会員）の自宅等	週（ ）日	週（ ）日
8. その他（公民館、公園等）	週（ ）日	週（ ）日

※1 「子どもの家」…中学生までのお子さんが自由に遊べる場所です。外庭に遊具があるほか、屋内にもアスレチック施設があり、雨の日も遊べます。就学前のお子さんには、大人の方が付き添って利用いただく場所です。

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動等を体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。（八幡小学校、港小学校で実施）

問 26 問 25 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方がお答えください。
 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。利用希望がある場合は、希望する時間帯をご記入ください。

土曜日	日曜日・祝日
1. 利用希望はない 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい	1. 利用希望はない 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 希望時間帯 （ ）時～（ ）時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 希望時間帯 （ ）時～（ ）時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。 </div>

問 27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休み等の長期休業期間中に放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。利用希望がある場合は、希望する時間帯をご記入ください。

1. 利用希望はない 2. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 3. 高学年（4～6年生）の間も利用したい	希望時間帯 （ ）時～（ ）時 時間は「午後6時」を「18時」というように必ず24時間制でご記入ください。
--	---

○宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてお答えください。母子家庭・父子家庭の場合は、母親または父親のみをご記入ください。

問 28 当てはまる就労状況の番号を 1つご記入ください。

母親 [] 父親 []

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	(1) をお答えください。
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	}	(1) 及び (2) をお答えください。
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	}	(3) をお答えください。
6. これまで就労したことがない		

- (1) 問 28 で「1」、「2」、「3」、「4」のいずれかに該当する方がお答えください。
 1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、また、家を出る時刻と帰宅する時刻をお答えください。「午後 6 時」を「18 時」のように必ず 24 時間制でご記入ください。一定でない場合は、もっとも多い状況についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業前の状況をお答えください。

母親		父親	
1 週当たり	() 日	1 週当たり	() 日
1 日当たり	() 時間	1 日当たり	() 時間
家を出る時刻	() 時	家を出る時刻	() 時
帰宅する時刻	() 時	帰宅する時刻	() 時

- (2) 問 28 で「3」または「4」に該当する方がお答えください。
 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号を 1 つご記入ください。
母親 [] 父親 []

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）へ転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）へ転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

- (3) 問 28 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に該当する方がお答えください。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ 1 つに○をつけ、選択した番号のかっこ内には数字をご記入ください。

母親	父親
1. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、宛名のお子さんが () 歳になったところに就労したい	2. 1 年より先、宛名のお子さんが () 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい	3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい
↓「3」を選択した方は、希望する就労形態をお答えください。	↓「3」を選択した方は、希望する就労形態をお答えください。
ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)	ア. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間	イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外） 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

○育児休業についてうかがいます。

- 問 29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
「2」または「3」に該当する方は期間をご記入ください。

母親	父親
1. 働いていなかった ⇒ 問34へお進みください。	1. 働いていなかった ⇒ 問34へお進みください。
2. 取得した →取得期間 () 年 () か月 ⇒ 問 30 へお進みください。	2. 取得した →取得期間 () 年 () か月 ⇒ 問 30 へお進みください。
3. 取得中である →取得予定期間 () 年 () か月 ⇒ 問 32 へお進みください。	3. 取得中である →取得予定期間 () 年 () か月 ⇒ 問 32 へお進みください。
4. 取得していない ⇒ 問 33 へお進みください。	4. 取得していない ⇒ 問33へお進みください。

- 問 30 問 29 で「2. 取得した」に○をつけた方がお答えください。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号に○をつけてください。

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 育児休業中に離職した ⇒ 問34へお進みください。	2. 育児休業中に離職した ⇒ 問34へお進みください。

- 問 31 問 30 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方がお答えください。
(1) 育児休業から職場に復帰した時期はいつでしたか。当てはまる番号に○をつけてください。

母親	父親
1. 4月	1. 4月
2. 4月以外の月	2. 4月以外の月

- (2) 育児休業から「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何か月まで取得したかったですか。カッコ内にご記入ください。実際の復帰時期と希望時期が同じ場合は、両方に同じ年齢（月齢）をご記入ください。

母親	父親
実際の復帰時期 () 歳 () か月	実際の復帰時期 () 歳 () か月
希望時期 () 歳 () か月	希望時期 () 歳 () か月

- (3) お勤め先に、お子さんの育児のために3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、希望として、お子さんが何歳何か月まで取得したかったですか。

母親	父親
() 歳 () か月	() 歳 () か月

(4) 「希望時期」より早く職場復帰した方は、当てはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 配偶者や家族の希望があった	1. 配偶者や家族の希望があった
2. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	2. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
3. 人事異動や業務状況に合わせた	3. 人事異動や業務状況に合わせた
4. 子どもをみてくれる人がいた	4. 子どもをみてくれる人がいた
5. 保育所等の入所に合わせた	5. 保育所等の入所に合わせた
6. その他 ()	6. その他 ()

(5) 「希望時期」より遅く職場復帰した方は、当てはまる理由の番号すべてに○をつけてください。

母親	父親
1. 配偶者や家族の希望があった	1. 配偶者や家族の希望があった
2. 自分や子ども等の体調が思わしくなかった	2. 自分や子ども等の体調が思わしくなかった
3. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった	3. 職場の受け入れ態勢が整っていなかった
4. 子どもをみてくれる人がいなかった	4. 子どもをみてくれる人がいなかった
5. 保育所等に入れなかった	5. 保育所等に入れなかった
6. その他 ()	6. その他 ()

(6) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. 利用した	1. 利用した
2. フルタイムで働きたかった（もともと短時間勤務だった）ので、利用しなかった	2. フルタイムで働きたかった（もともと短時間勤務だった）ので、利用しなかった
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 32 問 29 で「3. 取得中である」に○をつけた方がお答えください。

取得予定期間をご記入いただきましたが、希望として、宛名のお子さんが何歳何か月になるまで育児休業を取得したいですか。かっこ内にご記入ください。

母親	父親
() 歳 () か月	() 歳 () か月

問 33 問 29 で「4. 取得していない」に○をつけた方がお答えください。

取得していない理由に当てはまる番号すべてをご記入ください。

母親 [] 父親 []

1. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった
2. 配偶者が育児休業制度を利用した
3. 収入減となり、経済的に苦しくなる
4. 仕事が忙しかった
5. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
6. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
7. 昇給・昇格等に影響がありそうだった
8. その他 ()

問 34 子育て(教育を含む)、教育・保育環境、子育て支援等に関するご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

2月1日(金)までに郵便ポストにご投函ください。

--	--